

主な環境指標の実績および将来目標

(1)原子力設備利用率向上による効果

昨夏の記録的な猛暑の影響等により販売電力量が増加いたしました。原子力設備利用率が大幅に上昇*したことにより、環境負荷(CO₂、SO_x、NO_xの排出量)は、前年度と比較して、総じて減少いたしました。

*原子力設備利用率： 2003年度実績26.3% 2004年度実績61.7%

a. CO₂

2004年度のCO₂排出量は1億920万トンと、前年度に比べて約1,800万トン(約14%)減少いたしました。また、CO₂排出原単位(販売電力量1kWhあたりのCO₂排出量)も約17%減少し、1990年度とほぼ同水準の0.381kg/kWhとなりました。

		実績(年度)			将来目標 2010年度
		1990年度	2003年度	2004年度	
CO ₂ 排出原単位	(kg-CO ₂ /販売kWh)	0.382	0.461	0.381 (-17%)	1990年度比20%削減 0.31程度
CO ₂ 排出量	(万t-CO ₂)	8,410	12,720	10,920 (-14%)	-
販売電力量	(億kWh)	2,199	2,760	2,867 (+3.9%)	-
原子力設備利用率	(%)	71.3	26.3	61.7	-

()は前年度比

(ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/eco/report/glb/index-j.html>)

b. SO_x、NO_x

原子力設備利用率の上昇により、SO_x、NO_xの排出量が比較的多い石炭・石油火力発電の比率が低下したことなどから、2004年度のSO_x、NO_xの排出原単位は、前年度に比べ、それぞれ約3割以上減少いたしました。

引き続き、良質な燃料の使用、排煙脱硫・脱硝装置の設置、徹底した燃焼管理などの対策に努め、世界最高水準のクリーンレベルを維持してまいります。

		実績(年度)			将来目標 2009年度
		1990年度	2003年度	2004年度	
SO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.17	0.13	0.08 (-43%)	0.1以下
NO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.22	0.16	0.10 (-34%)	0.1以下

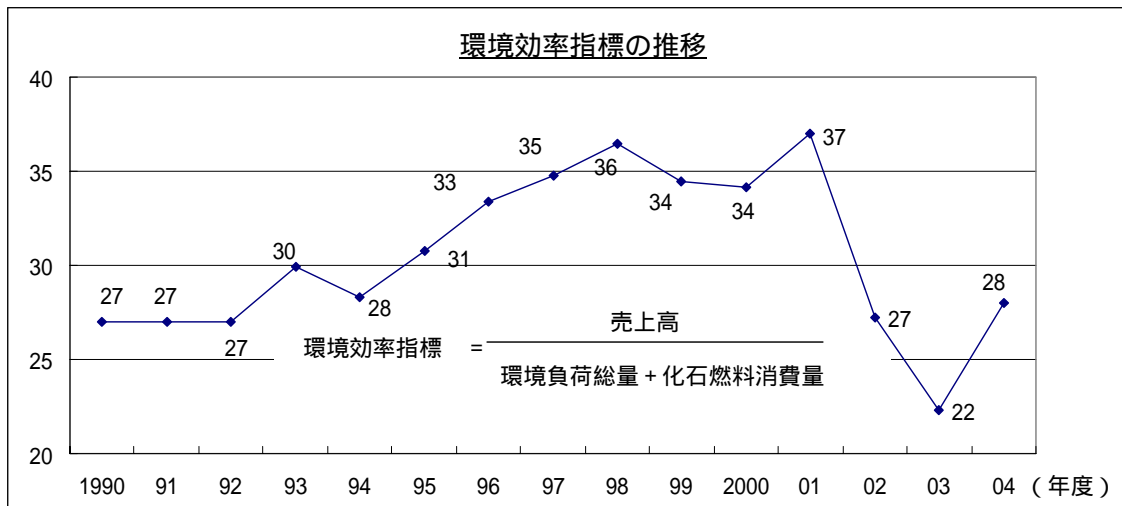
()は前年度比、四捨五入前の数値で算出

(ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/eco/report/lcl/01-j.html>)

c. 環境効率（Eco-efficiency）指標

当社は、2000年度より、事業活動全体と環境影響の関係を環境効率性の観点から評価するため、環境負荷量や資源消費量と経済活動を対比した「環境効率指標」の測定に取り組んでおります。

2004年度の環境効率指標は、売上高が前年度と比較して1.9%増加する一方、CO₂、SO_x、NO_xの排出量や化石燃料消費量が総じて減少したことにより、前年度と比較して27%上昇しました。



(注)・売上高は電気事業営業収益

・環境負荷総量および化石燃料消費量は、複数の環境負荷物質（CO₂、SO_x、NO_x）、化石燃料（重油、原油、LNG）消費をそれぞれ各物質および燃料種の環境影響度合いにより重み付けして合計（統合化）したもの。重み付けに用いた係数は、代表的な統合化手法の一つである「日本版被害算定型統合化手法」に基づいて設定。

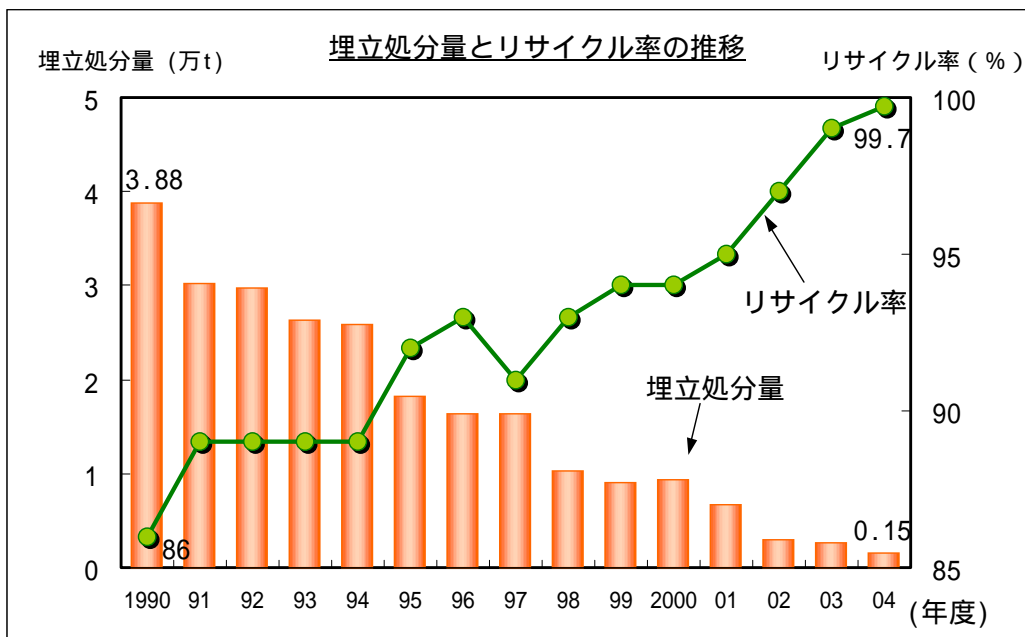
(ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/eco/report/mng/07-j.html>)

(2)2004年度の産業廃棄物の総合リサイクル率は99.7%に向上

当社は、「2005年度に産業廃棄物の総合リサイクル率100%」という目標を設定し、その達成に向け、産業廃棄物のリサイクル活動に取り組んでおります。

2004年度は、保温材くずや廃プラスチック、廃油等のリサイクル率が向上したことや、石炭灰、脱硫石こうを全量リサイクルしたことにより、産業廃棄物の総合リサイクル率は前年度を上回る99.7%に達しました。また、埋立処分量も前年度から1,200t削減し1,500tとなりました。

引き続き、目標の達成に向け、一層のリサイクルに取り組んでまいります。



(ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/eco/report/rci/01-j.html>)

(3)自社用エネルギー・資源消費量は全て改善

当社は、日常業務における社員一人ひとりの環境意識向上を図るため、2001年度から、自社内で使用する「事務所内電気使用量」「生活用水使用量」「車両燃費」「コピー・プリンター用紙購入量」のエネルギー・資源4項目について、チャレンジングな削減目標を設定し、その達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

2004年度は、2000年度比で電気18%、水39%、車両燃費13%、コピー・プリンター用紙25%をそれぞれ削減しました。これをCO₂排出量に換算すると、2000年度に比べ約18% (約2万t)削減したことになります。

		実績				2005年度目標 (2000年度比)
		2000年度	2003年度	2004年度	削減率 (2000年度比)	
事務所内電気使用量	(100万kWh)	305	241	251	18%	15%削減
生活用水使用量	(万m ³)	222	142	136	39%	15%削減
車両燃費	(L/km)	0.112	0.099	0.098	13%	20%改善
コピー・プリンター用紙購入量	(A4換算億枚)	4.0	2.9	3.0	25%	50%削減

(ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/eco/report/mng/03-j.html>)